

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

1 目指す姿と数値目標

経営理念

わが国第一級のインフラ・ソリューション・コンサルタントグループを目指し、環境・防災・保全領域で社会課題解決に取り組む

売上高
500億円

営業利益
59億円

当期純利益
39億円

ROE
10%以上

2 中長期の経営戦略

1. 基幹事業の拡充と新領域開拓

重点6分野（環境・エネルギー、自然災害・リスク軽減、都市・地域再生、インフラメンテナンス、公共マネジメント、デジタルインフラソリューション）の拡充と新事業参入

3. バリューチェーンの強化

プロダクト・プロセス・共創イノベーションの推進によるIT・AI活用と差別化商品・技術の開発

2. 海外ビジネス本格化への挑戦

アフリカ地域での道路・橋梁・給水インフラ拡大、アジア環境・防災分野の強化、東南アジア廃棄物分野でのトップシェア獲得

4. サステナビリティ経営の推進

温室効果ガス削減、SBT認証達成、人権尊重、人的資本経営、ガバナンス強化、資本コスト意識の実践

3 対処すべき課題

① 国内事業基盤の強化

- ・ 重点6分野における市場シェア拡大と事業基盤確立
- ・ 同業・異業種との新たなパートナーシップ構築
- ・ 中長期的な持続成長の実現

② 海外展開の加速

- ・ アフリカ・アジア・東南アジア地域での営業拠点整備
- ・ 現地パートナーシップ強化による案件・生産の現地化
- ・ グループ企業との連携による事業拡大

③ 経営基盤の高度化

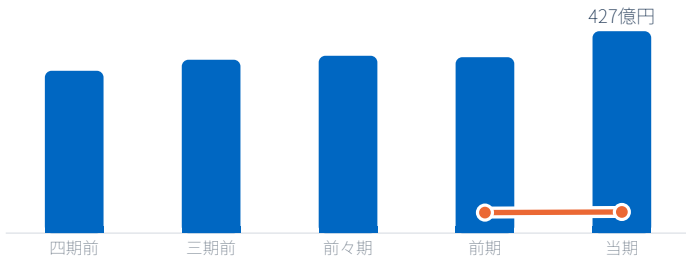
- ・ バリューチェーン全体の効率化とイノベーション推進
- ・ デジタル革命への対応とAI技術の活用
- ・ グリーン社会実現への寄与とESG経営の実践

面接で使えるポイント

- ・ 2028年5月期に売上高500億円達成を目指す中で、環境・防災・保全の3領域のコア・コンピタンスをどう活かすか
- ・ アフリカ地域での道路・橋梁・給水インフラ拡大や東南アジア廃棄物分野でのトップシェア獲得といった海外戦略
- ・ 2050年カーボンニュートラル実現やSBT認証達成を含むサステナビリティ経営への取り組み姿勢

証券コード 2153

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
427億円営業利益率
10.5%財務健康度
69点 / 100点

将来性 晴れ時々曇り / 就活偏差値 65.1（当サイト算出の参考指標）

平均年収
875万円

サービス業内 44位/524社

平均年齢
52.1歳

サービス業内 10位/527社

平均勤続
8.4年

サービス業内 191位/527社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

要するに

岡山県に本社を置く総合建設コンサルタント企業グループの持株会社

主力事業・セグメント

- サービス業（セグメント未開示）

強み・特徴（公開データから）

- 営業利益率10.5%の安定した収益性
- 将来性評価は晴れ時々曇り
- 東証プライム市場上場

※要約はAI生成のため誤りを含む可能性があります

